

### [3] 貸借対照表

貸借対照表について、推計を行いましたので報告いたします。

#### 貸借対照表（推計）

##### 資産の部

（単位：千円）

科 目		26年度末	25年度末	増 減
資 産	固定資産	20,571,811	20,664,765	△ 92,954
	有形固定資産	17,161,504	17,498,811	△ 337,307
	その他の固定資産	3,410,307	3,165,954	244,353
	流動資産	3,345,665	3,491,159	△ 145,494
合 計		23,917,476	24,155,924	△ 238,448

有形固定資産は減価償却により減少しますが、その他の固定資産では創立100周年記念引当特定資産へ1億円、減価償却引当特定資産へ5千万円、退職給与引当特定資産へ1億円を積み立てますので、2億4,453万円の増加となります。  
流動資産では現金預金が1億2,683万円の減少（キャッシュフロー計算書の繰越支払資金の減少額と同値）、また26年度退職者に対する退職金財団からの交付金が主である未収入金が1,866万円減少となり、総額では1億4,549万円の減少となります。

##### 負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

科 目		26年度末	25年度末	増 減
負 債	固定負債	2,415,027	2,579,523	△ 164,496
	長期借入金	361,010	527,630	△ 166,620
	学校債	529,000	526,600	2,400
	長期未払金	17,796	33,682	△ 15,886
	退職給与引当金	1,507,221	1,491,611	15,610
	流動負債	1,166,358	1,262,346	△ 95,988
	短期借入金	166,620	166,620	0
	学校債	96,800	109,600	△ 12,800
	未払金・前受金・預り金	902,938	986,126	△ 83,188
計		3,581,385	3,841,869	△ 260,484
基本金		29,395,498	29,124,119	271,379
消費収支差額		△ 9,059,407	△ 8,810,066	△ 249,341
合 計		23,917,476	24,155,922	△ 238,446

退職給与引当金については、1億8,363万円を繰入れしますが、26年度退職者分1億6,802万円を取崩しますので、1,561万円の増加となります。

固定負債のうち、長期借入金は26年度返済予定額の1億6,662万円減少します。流動負債については26年度退職者の退職金が主である未払金が7,466万円の減少となり、総額では8,318万円の減少となります。

施設支出、設備支出、借入金の返済などにより第1号基本金への組入れを行い、基本金は2億7,137万円の増加となります。

正味資産	20,336,091	20,314,055	22,036
減価償却累計額	12,179,079	11,734,331	444,748
基本金未組入額	532,112	702,254	△ 170,142
運用資産－負債総額	3,174,587	2,815,244	359,343

消費収支計算書の帰属収支差額（帰属収入－消費支出）の2,203万円が正味資産の増加となります。

（注）正味資産＝資産－負債（＝基本金＋消費収支差額）

運用資産＝その他の固定資産＋流動資産